



「こうなん」

まちの

# 見守り通信

第3号

誰もが地域の中で安心して生活できるように、  
様々な見守りに関係する目印(マーク)や取組があります。

## ヘルプマーク



義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで援助を得やすくなるよう、作成されたマークです。

## ひまわりホルダー



認知症や障害のある方などが、①外出先で緊急搬送された ②警察に保護された時などに病院や警察から登録先(地域ケアプラザや通所先の事業所等)に連絡が入り、緊急連絡先などの情報を確認することができます。  
もしも、緊急事態を発見したら、ホルダー裏面に書かれている登録先へご連絡を!

## 港南ひまわり83運動

ぼく、83太郎!  
港南ひまわり83  
運動のマスコットキャラクターだよ



“散歩や買い物、家の周りの掃除など、外に出る用事を小学生が登下校する時間帯を目安にしよう”というものです。ほんの少しの心がけで、誰にでもできる運動です。お店の前の掃除を「8時」と「3時」を目安に行うなど、子どもへのゆるやかな見守りを一緒に進めていきませんか?

地域ケアプラザの職員と一緒に地域での見守りの輪を広げる取組を行っています。  
見守り協力事業者に登録したいときは、まずは港南区役所までご連絡ください。

## 認知症サポーター



認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、自分のできる範囲で活動する「応援者」のことです。「認知症サポーター養成講座」を受講することで、認知症サポーターになることができます。各地域ケアプラザでも講座を実施していますので、詳細はお問い合わせください。

港南区では、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるように、さまざまな「見守り・支えあい」の取組を進めています。

## 「見守り協力事業者」とは?

ふだんの暮らしの中で「あいさつ」や「声かけ」をきっかけに、ゆるやかな見守りに協力していただいている事業者の皆さんのことです。



港南区  
見守り協力事業者  
登録数

**329事業者**  
(令和元年8月末現在)

港南区「見守り・支えあい」のまち

# 見守りの輪で みんな笑顔に



今回は…「東永谷地域ケアプラザ」「芹が谷地域ケアプラザ」の担当エリアの  
お店・事業所をご紹介します!

### 『東永谷地域ケアプラザ』の担当エリア

大久保1~3丁目、最戸1,2丁目、上永谷1~3丁目、東永谷1~3丁目

### 『芹が谷地域ケアプラザ』の担当エリア

芹が谷1~5丁目、東芹が谷

### 東永谷・芹が谷エリアってどんなまち??

武相国境や鎌倉古道があったことを伝える看板や碑など、まちを歩くと「歴史の語り部」に出会います。また、自然を生かした空間や地域の方々に関わる活動が息づいているエリアです。

### 知っていますか?

支援が必要な方や見守りに関する目印(マーク)などを裏面でご紹介します!



# 私たちもこの“まち”で“つながり”づくりを進めています



世代を問わず多くの方が来館され、どんな対応をすればいいか判断に迷うことも多いです。スタッフが認知症サポーター養成講座を受けたりして、一人ひとりに寄り添った対応ができるよう取り組んでいます。



横浜市永谷地区センター

子ども達が危険を感じたときに、すぐ助けを求めて入れるように、見守り協力事業者のこともっと知ってもらいたいです。日頃から地域の皆さんにお世話になっているので、いつか地域に貢献をしたいと考えています。



(有)秋元商店

地域ケアプラザ生活支援コーディネーターのみなさん  
私たちが一緒に取り組んでいます。  
心配なことがあればご連絡ください！

② 生活支援コーディネーターって？  
① 高齢になっても自分らしく住み慣れた地域で安心して暮らせるように、必要な支援を考え、助け合い活動を広げる仕組みを地域の皆様と一緒に作っています。



## 芹が谷エリア

お店の前が子ども達の待ち合わせ場所になるとうれしいな

できることから少しずつ取り組んでいます

高齢の方がお一人でお店を利用されることも増えています。普段からあいさつや声かけはもちろん、お客様とお話する時間を持てるよう心がけています。普段の様子を知ることで何か変化があったときにも気づけるといいなと思っています。

LAWSON 港南大久保二丁目店

## 東永谷エリア

地域の皆さんにこのお店があって良かったと思ってもらえると嬉しいな



長年、この地域の変化を見てきました。この地域への恩返しの意味でも見守りのお手伝いができればと思います。



caféVENUS



地域の方と関わる機会を施設として大切にしています。例えば公園で転んだ子がいたら、施設の看護師が手当するような、そんな関わりを持ちたいです。まずは施設を知ってもらうことから始めており、道行く人への挨拶から始めています。

食を通じたつながりづくりを大事にしています。店内に地域情報のチラシを掲示したり、ワークショップを行ったりして、必要な情報が必要な方へ届くように横へ情報をつなげるお手伝いをしたいと思っています。

## こんなことがありました

- 店の前のバス停で具合が悪くなった人に店内で休んでもらったり、救急車を呼んだりしたことがあります。
- 見守り協力事業者になったことで、地域ケアプラザの方とも「つながり」ができました。
- お客様の「いつもと違う？」様子に気づいたときには、声掛けしたり様子を見守ったりしています。



クロスハート 港南・横浜

まちの給水所の取組も行っています



vend